

『東日本大震災における地震・津波時の避難に関する実態調査』へのご協力をお願い

東日本大震災により亡くなられた方々のご冥福をお祈り申し上げますとともに、そのご家族や被災された方々に、心よりお悔やみとお見舞いを申し上げます。

さて、内閣府が事務局を務める中央防災会議に設置された「防災対策推進検討会議 津波避難対策検討ワーキンググループ」では、中央防災会議「東北地方太平洋沖地震を教訓とした地震・津波対策に関する専門調査会」の報告（平成23年9月28日）を踏まえ、今後の津波避難対策について検討しております。（ワーキンググループの詳細は http://www.bousai.go.jp/jishin/chubou/taisaku_tsunami/index.html をご参照ください。）

その中で、内閣府では、今般の東日本大震災における地震発生から津波襲来までの間に人々がどのように行動したかなどの被災・対応状況の実態について記録として残すとともに、今後の対策につなげていくことを目的として、津波避難の状況等の詳細なアンケート調査を行うことになりました。

このような折に調査をさせていただくことは大変心苦しいことではございますが、今後の津波避難対策に役立てるため、本調査の趣旨をご理解いただき、是非、ご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

ご回答いただいた内容は、全て個人が特定されない形でとりまとめをさせていただく他、個人情報扱いについては十分な配慮を行い、本調査の趣旨以外の目的で使用することは一切ありません。

なお、本調査にご協力いただくかどうかは自由であり、ご協力頂ける場合でも、頂けない場合でも、不利益になることは一切ございません。

ご多忙中、誠に勝手なお願いで大変恐縮ではございますが、趣旨をご理解頂き、何卒ご協力賜りますようお願い申し上げます。

平成24年8月
内閣府（防災担当）

1. 調査について

本調査は、内閣府が実施する統計法に基づく一般統計調査です。調査票の配布や回収等については、内閣府が調査の専門機関である社団法人輿論科学協会（よろんかがくきょうかい）に委託しております。

2. 調査方法について

まず、被災地の中から地域（町丁）を無作為に選定します。続いて、その地域の東日本大震災発生時における住宅地図に基づき、調査員（委託先の社団法人輿論科学協会の調査員）が調査をお願いする方を無作為に決定した上で、その方のお宅又は引っ越し先を訪問し、調査へのご協力をお願いします。そして、ご協力頂ける方に調査票をお渡しし、後日記入済みの調査票を受け取りに伺います。

注）調査にあたり、あらかじめ市町村にも協力をお願いをしております。

3. 秘密の保護について

本調査は、統計法に基づく国の統計調査です。ご記入いただいた内容については、統計法に基づき、他に漏らすことは固く禁じられており、また、統計作成以外の目的に使用されることは決してありません。内閣府は、秘密の保護に万全を期しております。また、委託先の社団法人輿論科学協会も、内閣府と同様に、統計法上の守秘義務を負っており、秘密の保護に万全を期しております。

なお、社団法人輿論科学協会は、個人情報保護に関する法律、マーケティング・リサーチ綱領、その他の個人情報保護に関する規範を遵守しています。また、一般財団法人日本情報処理開発協会から個人情報の適正な取り扱いと保護がなされている事業者が付与される「プライバシーマーク」（※）の付与認定を受けています。

※ プライバシーマークとは、個人情報の管理を適切に行なっている団体に対して第三者機関である一般財団法人日本情報処理開発協会が使用を許諾するマークです。

本調査に関するお問い合わせ先	社団法人 輿論(よろん)科学協会 担当:島田 連絡先:03-3401-1131 (平日10:00~17:00) 住所:東京都渋谷区千駄ヶ谷4-8-6
内閣府連絡先	内閣府(防災担当) 担当:渡部 連絡先:03-5253-2111 (内51406)

本日は、この地域を担当しております、_____が伺いました。
(連絡先_____)

アンケートは____月____日(____曜日)____時頃に、いただきにあがります。
その際、些少ではございますが謝礼として粗品を差し上げますので、
ご笑納いただければ幸いです。

よくあるご質問について

皆様からよくあるご質問について、Q & Aにて説明致します。

なぜ、私のうちに来たの？

震災時に調査対象地域（統計理論に基づき、無作為に選ばれた字・丁目）にお住まいの方のお宅を何軒かおきに訪問（引っ越し先が分かれば引っ越し先を訪問）し、ご協力のお願いをして廻っております。

従いまして、この度伺ったことに他意はございません。

<ご参考> 調査対象の抽出の方法

- ① 東日本大震災で津波浸水があった岩手県・宮城県・福島県の市町村を対象としています。
- ② 合計で概ね11,400人の方への調査依頼を想定し、津波の浸水した範囲の人口の多さに概ね比例するように、それぞれの市町村毎のご協力をお願いする方の人数を設定しました。
- ③ 1つの字・町丁目から概ね30人の方への調査依頼を想定し、それぞれの市町村毎で、ご協力をお願いする字・町丁目の数を設定しました。
- ④ それぞれの市町村において協力をお願いする字・町丁目は、統計理論に基づき、無作為に抽出しました。
- ⑤ 調査の対象として抽出された字・町丁目の町会長もしくは消防団長等に調査の趣旨をお知らせし、ご協力をお願いしました。それを踏まえ、お住まいの方の家を何軒かおきに訪問し、ご協力のお願いをしております。

あとで、セールスや勧誘などがあるんじゃないかしら？

ご記入いただいた内容については、統計法に基づき、統計作成以外の目的に使用されることはありません。

従いまして、本調査にご協力頂いたことにより、後日セールスマンがお宅に伺ったり、ダイレクトメールが送られてきたりするようなことは決してございません。

社団法人輿論科学協会における個人情報の取扱いについて

- ◇ ご協力頂いた方のお名前や、個々のご意見は厳重に管理保管します。外部に漏らすことは一切ございません。
- ◇ セールスや勧誘など、調査目的以外に使用することは絶対にありません。
- ◇ ご回答頂いたアンケートは、集計後すべて焼却処分致します。

社団法人輿論科学協会ホームページで、同協会の個人情報保護方針、取扱いについて公表しております。 (<http://www.yoron-kagaku.or.jp/jhp/privacy1.htm>)